

1. 学年・教科・単元名 6年 算数 「単位量あたりの大きさ」
2. 実践者（所属） 武川 恭子（真福寺小学校）
3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
<input type="checkbox"/>	教材提示装置	Web サイト ()	<input type="checkbox"/>	50 インチ大型テレビ
	コンピュータ			電子黒板
	デジタルカメラ	PC ソフト ()		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト, 放送番組 ()		
	DVD プレイヤー			
	その他 ()			

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため	<input type="checkbox"/>	わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動 (45 分)	ICT 活用の留意点等
1. 単位量あたりの大きさの求め方を考え, ノートにまとめる。 2. 考え方を整理する。(板書)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や線分図などを用いてまとめさせ, それを活用し説明することをあらかじめ伝えておく。 ・ 考え方を交流する前に, どんな方法で考えたかを板書に板書する。 (板書例)①1 kgあたりの面積で比べる ②面積をそろえて比べる ③1 m²あたりの収穫量で比べる ④収穫量をそろえて比べる・・・など。
3. 考え方を交流する。 (50 インチ大型テレビ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50 インチ大型テレビと黒板を併用しながら使うとよい。
4. 単位量あたりの大きさを求める問題を練習する。	

6. 実践のポイント

「全体に提示する」という意識でノートをまとめる習慣が身に付き, ノート作りの力にもつながる。算数の学習の「考え方」の交流がパターン化されるので, どの単元でも活用できる。